

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2026年度)

専門分野区分	作品制作	科目名	DC制作実践					科目コード	D1920A1	
配当期	前期	授業実施形態	通常					単位数	8 単位	
担当教員名	園田 寛明	履修グループ	3E(MC/SC)					授業方法	演習	
実務経験の内容	クリエイターとして建築デザイン事務所で13年間にわたり行った3D/CG制作・コンテンツ業務などの経験を活かし、職業や職業選択等の考え方について、またアプローチ方法など講義する。									
学習一般目標	各専門分野への就職活動において必要な作品、もしくは一般就職を目指す学生に対しても各々に設けたテーマに対して作品の制作(テーマ研究)を行う。 各テーマに対し、より深く考察し社会との関わりを含め、ものづくりを行う意義や目的を追求する。 それらの作品制作にあたり、自ら思考し、実践・表現を行うことで課題解決という目標に向かって意欲的に取り組む姿勢を学びます。 また最終的には各テーマに沿った作品を完成させ、それらに対する自分の考えをプレゼンテーションという形で発表することを目指す。									
授業の概要および学習上の助言	まずはじめに、各自が「制作したい、知りたい、興味がある」と思える研究テーマを設定。半年間を通してどのような研究を進めていくのかのスケジュールを立て、成果や進捗報告として企画・中間・最終発表時にプレゼンテーションを行う。 基本的なインストラクションや作品に対する評価は教員が行いますが、あくまで各個人が自主的に調査・研究し、制作していくことを前提とします。									
教科書および参考書	随時レジュメ配布									
履修に必要な予備知識や技能	研究の結論(制作物、論文等の作成)を導くために、どういった情報やスキルが必要なのかといったことを調べておく必要があります。 卒業後の希望進路にかかわらず、各自が真剣に取り組める研究テーマを設定してください。興味関心をもって積極的にリサーチすること。									
使用機器										
使用ソフト										
学習到達目標	学部DP(番号表記)	学生が到達すべき行動目標								
	2	各自目標に向けた作品のテーマ設定することができる。								
	4	各自が設定したテーマに沿った作品を制作することができる。								
	3/4/5	課題解決という目標に向かって意欲的に取り組むことができる。								
	5	各自が設定したテーマに沿った作品を口頭で説明することができる。								
	2	ものづくりにおいて社会との関わりを含めた意義・目的に関して設定することができる。								
達成度評価	評価方法	試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計	
	学部DP	1.知識・理解								
		2.思考・判断					20			20
		3.態度					20			20
		4.技能・表現					20			20
		5.関心・意欲					20		20	40
	総合評価割合						80		20	100

評価の要点

評価方法	評価の実施方法と注意点
試験	
小テスト	
レポート	
成果発表(口頭・実技)	企画発表、最終発表のすべて出席。 ※一度でも欠席した場合は単位認定できません
作品	企業に向けた作品や、積極的且つ自主的に制作された完成度で判断。
ポートフォリオ	
その他	授業への出席、取り組み、態度などを含め総合的に判断する。

授業明細表

授業回数	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1回	授業概要についての説明 作品の内容を確認の上、構成の企画を立てる	講義・実習	
第2回	作品の内容を確認の上、構成の計画を立てる。進捗確認。	講義・実習	
第3回	企画内容発表 作品の制作およびブラッシュアップ作業。進捗確認。	講義・実習	
第4回	作品の制作およびブラッシュアップ 作業。進捗確認。	講義・実習	
第5回	作品の制作およびブラッシュアップ 作業。進捗確認。	講義・実習	
第6回	作品の制作およびブラッシュアップ 作業。進捗確認。	講義・実習	
第7回	作品の制作およびブラッシュアップ 作業。進捗確認。	講義・実習	
第8回	作品の制作およびブラッシュアップ 作業。進捗確認。	講義・実習	
第9回	作品の制作およびブラッシュアップ 作業。進捗確認。	講義・実習	
第10回	作品の制作およびブラッシュアップ 作業。進捗確認。	講義・実習	
第11回	作品の制作およびブラッシュアップ 作業。進捗確認。	講義・実習	
第12回	作品の確認。最終発表(受講生により変更あり)	講義・実習	
第13回	作品の確認。最終発表	講義・実習	
第14回	課題解決型授業I	遠隔授業 実施時期:2期	別紙提示

